

石綿健康被害判定小委員会の開催状況等

1. 石綿健康被害判定小委員会及び審査分科会の開催状況

	R3.4月～9月	累計
判定小委員会	6回	203回
審査分科会	18回	397回
石綿肺等審査分科会	6回	121回

2. 令和3年4月～9月における医学的判定の状況等（単位：件）

(1) 認定疾病と判定するもの

項目	判定件数（R3.4～R3.9）					判定件数累計
	中皮腫	肺がん	石綿肺	びまん性胸膜肥厚	計	(H18.4～R3.9)
療養者	488	83	0	9	580	10,994
施行前死亡者	0	0	0	0	0	163
未申請死亡者	68	22	0	3	93	1,639
計	556	105	0	12	673	12,796

(2) 認定疾病でないと判定するもの

項目	判定件数（R3.4～R3.9）					判定件数累計
	中皮腫	肺がん	石綿肺	びまん性胸膜肥厚	計	(H18.4～R3.9)
療養者	23	24	12	22	81	2,254
施行前死亡者	0	3	0	0	3	405
未申請死亡者	16	11	10	4	41	688
計	39	38	22	26	125	3,347

※判定小委員会にて判定した件数であり、（独）環境再生保全機構の受付認定状況と異なる。

※施行前死亡者とは、法施行日（平成18年3月27日）よりも前に指定疾病により死亡された方である。

未申請死亡者とは、法施行日（平成18年3月27日）以後に認定の申請をしないで指定疾病により死亡された方である。

新型コロナウイルス禍における審議会の開催状況等

令和2年度～令和3年度の概況

- 新型コロナウイルスの影響により、首都圏外の病院に在籍する委員の参集が困難となったため、審議会を一部延期（令和2年2月～6月）
- web会議システムを用いて、石綿肺等審査分科会を開催（令和2年4月～）。病理標本等の検鏡が必要な案件については、病理担当委員のみ参集とし、web会議システムを併用して開催（審査分科会は令和2年5月～、判定小委員会は令和2年6月～開催）。
- 未審査案件に対応するため、審議会開催数を月4回から月5回に増加（令和3年3月～）。
- 新型コロナウイルス禍等の有事・平時を問わず、円滑な審議会の運営を継続し、オンラインによる医学的判定等を可能とする「石綿健康被害判定業務のICT化システム」を構築中。

今後の方針

- 未審査案件への対応のため、今後、分科会1回当たりの審議件数の増加や、分科会の開催数の増加を予定。
- 令和4年3月頃から「石綿健康被害判定業務のICT化システム」の仮運用を開始予定（本格運用は令和4年4月からの予定）。